

V.一般検査

検査項目	項目名	単位	基準値範囲	意義
尿一般定性	比重		1.002～1.030	腎機能(尿濃縮力)の指標です。
	pH		5.0～8.0	腎疾患、血液の酸・塩基平衡状態、結石、蛋白尿などの変化を知る指標です。肉食で酸性、菜食でアルカリ性に傾きます。
	蛋白	mg/dl	(-)	腎臓や尿路の疾患で陽性になりますが、過労、高熱時にも陽性になります。
	糖		(-)	血糖値が高くなると尿中に漏れ出てきます。
	ケトン体		(-)	糖の代謝異常があり、ケトン体が増加すると尿中に検出されます。空腹時にも陽性になることがあります。
	潜血		(-)	腎臓や尿路に炎症や疾患があると尿中に血液が混じり陽性になります。
	ウロビリノーゲン		(±)	肝臓の障害や、血液中の赤血球が壊れたり、発熱や脱水、便秘などで陽性になります。
	ビリルビン		(-)	肝臓や胆道系の障害で血液中ビリルビンが高くなると、尿中に排泄されます。
	亜硝酸塩		(-)	尿中に細菌がいると陽性になることがあります。
	白血球反応		(-)	膀胱炎などの感染症、女性の場合は膣や外陰部からの混入などで陽性になります。